

北広島市フッ化物洗口推進事業の再開に向けて

1 フッ化物洗口とは

フッ化物洗口は、フッ化物洗口液を用いてブクブクゆすぎを行い、歯のエナメル質表面にフッ化物を作用させる方法で、局所応用法の中では費用対効果が最も優れた方法です。学童期を中心とした永久歯エナメル質が成熟していない時期に実施することが、むし歯予防に効果的とされています。さらに保育所、小学校などの集団の場合においては、継続性が確保される利点があり、むし歯予防及び健康格差縮小の観点から、集団フッ化物洗口を施設等で実施することが望ましいとされています。家庭の環境や事情に左右されることなく、全ての子どもたちに対して平等にむし歯予防ができることから、自治体のむし歯予防施策として意義が大きいものと考えております。

2 事業開始からの経緯

北広島市フッ化物洗口推進事業は、北広島市健康づくり計画（第4次）等においてフッ化物洗口の実施を位置付けるとともに、平成28年度の2学期から平成31年度にかけて、市立保育園及び小学校において実施しておりました。しかし、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の拡大、市内での感染者の発生等により事業を休止しておりました。

令和4年度になり、厚生労働省より環境の変化に対応しつつ、適切なフッ化物洗口を継続的に実施するためのガイドラインや実施マニュアルの見直しがされたこと、令和5年1月には文部科学省より「学校における集団フッ化物洗口について」の通知が発出されたこと、新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類に移行されたこと、長期間のフッ化物洗口の中断によりむし歯が増えるといった報告（福岡県久山研究）等から、令和5年度中の再開に向けて、フッ化物洗口事業実施協議会にて方針を決定します。

3 再開した際の実施方法

1) 対象者

対象施設	対象者
市立保育園	年中組（4歳児）と年長組（5歳児）
市立小学校	1学年から6学年までの全学年

*事前に希望調査を実施し、希望者にフッ化物洗口を実施します。
希望しなかった児童は、水道水によるゆすぎを実施します。

2) フッ化物洗口の実施頻度、フッ化物濃度、使用量、時間

対象	方法	フッ化ナトリウム濃度	フッ化物濃度	1回分の洗口液量	1回分の洗口液に含まれるフッ化物量	1回の洗口時間
市立保育園	週2回法	0.1%	450ppm (0.045%)	5ml	2.25mg	30秒間
市立小学校	週1回法	0.2%	900ppm (0.09%)	10ml	9.00mg	1分間

*市立保育園は、歯科医師の指示の基、保育士が洗口液を調製します。

*市立小学校は、歯科医師の指示の基、薬剤師が洗口液を調製、運搬会社が洗口液を学校まで運搬します。

4 再開にむけたスケジュール（案）について

○共通

【5月】校長会、教頭会、市立保育園園長会議にて説明

・フッ化物洗口推進事業再開に向けての概要

【6月14日】フッ化物洗口事業実施協議会開催

○小学校

【7月3日】学校の教職員等に対面とオンラインで説明会の開催（終了後アーカイブ配信予定）

【7月上～中旬】保護者説明会

・日中と夜間の2回オンラインで説明会を開催（終了後アーカイブ配信予定）

【7月中旬】保護者に希望調査票配布、集約

【7月下旬～8月中旬】小学校に必要な物品の配布、実施方法の最終確認

【8月下旬～9月第1週】水道水によるゆすぎ練習

【9月第2週～】洗口液を使用したフッ化物洗口開始

○保育園

【8月上旬】保育園の保育士等に対面で説明会の開催

【8月下旬】保護者説明会

・夜間オンラインで説明会を開催（説明会后アーカイブ配信予定あり）

【9月上旬】保護者に希望調査票配布、集約

【9月上旬～9月中旬】保育園に必要な物品の配布、実施方法の最終確認

【9月下旬～10月上旬】水道水によるゆすぎ練習

【10月中】洗口液を使用したフッ化物洗口開始